

第一回東北大学タイ校友会が開催されました (2018/1/20)

テーマ：防災、スマート技術
場所：タイ・バンコク

平成 30 年 1 月 20 日にタイ・バンコクで第一回東北大学タイ校友会(1st Tohoku University Annual Alumni Seminar)が開催されました。2017 年に本学がタイにオフィスを開設してから、初めての開催となりました。セミナーのテーマは、指定国立大学に選ばれたテーマの一つでもある「災害・防災」でした。本学からは里見進総長や植木俊哉理知等 10 人の教職員が参加し、災害科学国際研究所からは東北大学卒・現在当研究所で津波防災を研究しているサッパシー アナワット准教授(災害リスク研究部門 津波工学研究分野)が参加しました。サッパシー准教授は「Advanced Technology to Forecast Tsunami for Timely Prevention」と題して基調講演を行い、その後パネリストとしても登壇しました。その他に、本学の工学研究科土木工学専攻の風間聡教授から土砂災害・海岸浸食について、また東北大学卒・ランシット大学の Supratid Sere 教授から洪水について基調講演が行われました。セミナーには約 90 人が参加し、セミナー終了後には現在東北大学に勤務する教職員と東北大学卒業生 50 人との交流会が行われました。今後は、東北大学とタイの交流を深めることを目的として、毎回違うテーマを設定して、一年に一度セミナーを開催する予定です。



里見総長による挨拶



サッパシー准教授による基調講演



パネルディスカッションの様子



交流会の集合写真

文責：サッパシー アナワット (災害リスク研究部門)